

和田ボランティアセンター「和(なごみ)」が 比較的 順調に立上げができた要因

(令和5年11月29日)

- 1) 和田ボラセンの関係者が、計画当初から積極的、協力的に活動を継続できた (関係機関との協力体制)

玉野市社協、和田市民センター、和田地区社協、和田コミュニティー

- 2) 地域で多くの住民に顔なじみの女性(2名)が、自主的に和田ボラセンのコーディネータに応募して、活動を推進してくれた (地域の状況を良く知ったコーディネータの選任)

- 3) 和田ボラセンの事務所を利便性が良い地域の中央部に開設できた (事務所の立地条件が良好)

周辺に坂道がなく、市民センター、生協、医院等に隣接、住民が比較的気楽に(買い物帰り等)立ち寄ることができる

- 4) 和田ボラセンの立上げ費用や固定費を予算内に納めることができた (予算確保と経費削減)

事務所の選定、開設準備(片付けや清掃・整備)を 和田ボラセン 関係者が労働を提供

わだ・御崎自防連のストック備品(机、イス、石油ストーブ等)や、各家庭の不用品(百歳体操用のテレビ、ビデオデッキ等)を活用

- 5) サポーターを含め地域住民の協力が得られた (地域ぐるみのPR活動)

事務所 家主さんのご協力、和田地区社協(民生委員会、婦人会、老人クラブ、コミュニティ協議会等)からサポーターの推薦、ボラセン開設のポスターやチラシと、住民の口コミによるPR活動を推進